

府中町まち・ひと・しごと創生総合戦略の平成29年度末時点の検証

総合戦略に記載された基本目標と重要業績評価指標（KPI）それぞれの平成29年度末時点での達成状況を検証した。

基本目標のうち、「出生率回復」については、中間目標値を達成した前年度よりさらに改善が見られ、最終目標値を超えた。これは、これまでの子育て支援施策の効果が発現したものと考えられる。今後も継続して施策を総合的に展開し、検証値の推移を注視していきたい。

一方、「子育て世代の転入出差」については、前年度から連続して改善して目標値に近づいたものの、3年連続の未達成である。今後の動向に注視しつつ、総合戦略に掲げた基本的方向を踏まえた具体的な施策の拡充、新規施策の検討が必要と考えられる。

基本目標を達成するために必要な施策の重要業績評価指標（KPI）については、前年度と同数の12指標のうち3指標が未達成となったが、このうち2指標は前年度達成していたものであり、未達成となった要因を分析し、それに対応した取組みを行うことで目標達成を目指すことが必要である。なお、前年度から2年連続で中間目標値未達成となった中学校英検取得率については、今年度から助成対象学年を拡大するなどの取組み強化を図っているところである。

<基本目標>（別紙1参照）

①[出生率回復]

子育て世代女性100人あたり0歳児数 ...➡ 中間目標9.026人に対して実績9.47人

達成

②[子育て世代の転入出差プラス]

子育て世代女性の転入出差 ➡ 目標59人増に対して実績54人増

未達成

<重要業績評価指標(KPI)>（別紙2参照）

12指標中、3指標が未達成。指標達成率75%。

重要業績評価指標（KPI）の達成状況

基本的 方向	施策	重要業績評価指標（KPI）				施策の 実施状況 等
			中間目標値	検証値	判定	
広島都市圏で一 番の子育て支援	「孫育て」による保育の充実	保育所の一人当たり面積	2.608㎡	3.09㎡	達成	H29年度開始
	子どもに遊びを教える等のボランティア活性化	子ども向けボランティア活動回数	6回	28回	達成	
	児童センター等の子どもの居場所整備					完了
	「放課後児童クラブ(留守家庭児童会)」の充実	放課後児童クラブ利用児童数	555人	574人	達成	H28年度開始
	「放課後子供教室」の取組強化	放課後子供教室の当選割合	77.0%	63.3%	未達成※	H28年度開始
	質の高い教育の提供	学校の年間の県大会出場件数	43.4件	44件	達成	
	地域の国際力を活かした小中学校英語教育の充実	中学校卒業時の英検3級以上取得率	31.6%	27.7%	未達成	H28年度開始
	子どもの医療費負担の支援	助成対象の子どもの推定数	5,547人	5,569人	達成※	H29年度開始
	子どもの感染症予防の推進	12感染症の年間発生件数	351.2件	259件	達成	H28年度開始
	不妊治療支援による希望する出産の実現	子育て世代女性100人あたり0歳児数	9,026人	9.47人	達成	H28年度開始
子ども連れ家族の 生活利便の向上	子ども連れ家族が移動しやすい歩行者空間整備	町内主要箇所の徒歩者等通行者数	2,179.6人	1,876人	未達成※	
	子育て支援店舗等（おむつ交換台設置店など）の支援					
	公共施設等の子ども連れ利用の利便性向上					
	その他子ども連れ生活利便の向上					
	公共交通の利便性向上	町営コミュニティバスの年間利用者数	189,519.2人	190,293人	達成※	H28年度開始
子どもに伝える地 域の魅力の向上	観光散策の環境整備	レンタサイクルの年間延べ利用件数	150件	1,081件	達成	H28年度開始

・※印付きの判定は前年から反転したものを示す。

基本目標の検証

総合戦略に記載した下記の基本目標について、ここでは平成 30 年 4 月 1 日時点での住民基本台帳登録人口の集計結果により達成状況を検証する。

<子育て支援分野>

【目標】国の長期ビジョンより 10 年早いペースでの出生率回復、つまり、子育て世代女性 100 人あたり 0 歳児数 9.23 人

区 分	検証結果			目標値	判定
	0 歳児数	20～39 歳女性人口	検証値		
現状値(H27.4.1)	535 人	6,134 人	8.72 人	8.72 人	
H28.4.1	521 人	5,963 人	8.74 人	8.822 人	未達成
H29.4.1	539 人	5,920 人	9.10 人	8.924 人	達成
H30.4.1	553 人	5,837 人	9.47 人	9.026 人	達成
H31.4.1				9.128 人	
目標(H32.4.1)				9.23 人	

出生率回復については、中間目標値を達成した前年度よりさらに改善が見られ、最終目標値を超えた。これは、これまでの子育て支援施策の効果が発現したものと考えられる。今後も継続して施策を総合的に展開し、検証値の推移を注視していきたい。

<生活利便の向上・地域の魅力の向上分野>

【目標】子育て世代の転入出差を年間 +30 世帯、つまり、20～39 歳女性が前年の 19～38 歳女性比で 59 人増

区 分		検証結果			目標値	判定	<参考> 総人口
		当年 20～39 歳女性	前年 19～38 歳女性	検証値 (差引)			
現 状 値	H23.4.1	6,597 人	6,614 人	17 人減	5 年平均 53.4 人増		51,134 人
	H24.4.1	6,466 人	6,407 人	59 人増			51,266 人
	H25.4.1	6,312 人	6,227 人	85 人増			51,507 人
	H26.4.1	6,201 人	6,160 人	41 人増			51,579 人
	H27.4.1	6,134 人	6,035 人	99 人増			51,923 人
	H28.4.1	5,963 人	5,980 人	17 人減	59 人増	未達成	52,012 人
	H29.4.1	5,920 人	5,896 人	24 人増		未達成	52,090 人
	H30.4.1	5,837 人	5,783 人	54 人増		未達成	52,140 人
	H31.4.1						
	H32.4.1						

子育て世代の転入出差については、前年度から連続して改善して目標値に近づいたものの、3 年連続の未達成である。

総人口は微増を続けているが、今後の動向に注視しつつ、総合戦略に掲げた基本的方向を踏まえた具体的な施策の拡充、新規施策の検討が必要であると考えられる。